

音鑑・冬の勉強会 2017

「よりよい授業を求めて」

2017年12月26日～27日
教員免許状更新講習（選択領域 12 時間）認定

平日の開催となつて2年目の冬の勉強会です。今回もたくさんの先生方に参加していただきました。

1日目の午前中は、勉強会のテーマにもなっています「よりよい授業を求めて」をテーマに藤沢章彦先生に、次に、新しい学習指導要領改訂のポイントについて、小学校の内容を中心に文部科学省教科

調査官の津田正之先生にご講演いただきました。

午後の江田司先生のワークショップでは、実際に体を動かすことで、音源による演奏の違いを体感したり、教材になる楽曲の魅力に迫ったりしました。千葉優子先生の講演では、箏曲の歴史を中心に、専門的なお話も伺うことができました。

1日目（12月26日）

研修内容：●講演「よりよい授業を求めて」

●講演「学習指導要領改訂のポイント 小学校」

●お話とワークショップ「教材研究の仕方について」

●講演「箏曲の歴史と魅力」

講師：藤沢 章彦（東京女子体育大学講師、当財団理事）

津田 正之（国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省教科調査官）

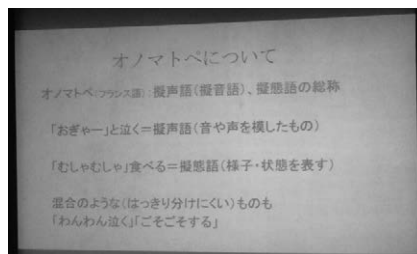
江田 司（名古屋学院大学准教授）

千葉 優子（宮城道雄記念館資料室長）

●講演「よりよい授業を求めて」



◀「オノマトベ」のお話を例に、「よりよい授業を求めて」のお話をされる藤沢先生。オノマトベは擬声語、擬態語の総称で、音からくる印象で、その様子や状態を表しているということを具体的な例を挙げて説明されました。



●講演「学習指導要領改訂のポイント 小学校」



▲各教科で育成すべき資質・能力はこの3つの柱で整理されました。



▲新学習指導要領の改訂について、現行の学習指導要領と比較しながら、そのポイントをわかりやすくお話くださる津田先生。

●お話とワークショップ「教材研究の仕方について」



▲江田先生は1つの楽曲の教材研究のために何十時間も繰り返して聴くそうです。



▲『ブラジル』の音楽に合わせて歩いてみました。音源（CD）が変わると、歩く速度や歩き方が変わり、音楽の感じ方も変わることがわかります。

●講演「箏曲の歴史と魅力」



◀千葉先生からは、箏の伝来から歴史をたどるなかで、『六段の調』の位置づけ、『春の海』の革新性について、お話しくださいました。

●懇親会



全国の先生方や講師と
いろいろ情報交換し、
交流を深めました。▲

【アンケートより】

- ・オノマトペのお話が勉強になりました。言葉の感覚、少しの違いで感じ方が全然違って、子どもの言葉一つひとつに敏感になっていこうと思いました。
- ・まさに求めていた内容。鑑賞における“深い学び”とは何なのか。それは自身の教材研究の仕方にあつたということ。どうすれば子どもたちが“対話的”になるかということ、身をもって教えていただいた。
- ・体の動きをしながら鑑賞活動に取り組み、聴き方が変わる体験ができました。

2日目の午前中は、音楽科と生活や社会との関わりについて原口直先生の実践発表を聞きました。参会された先生方は、授業で扱うための多くのヒントを得られたようでした。前日に続き、新しい学習指導要領改訂のポイントについて臼井学調査官から

お話をうかがいました。2日間連続して聞くことで、内容がより深く理解することができました。

午後は郷土の音楽について、音鑑研究委員から事例開発のねらいを聞き、実際にワークショップで事例を体験しました。

2日目（12月27日）

研修内容：●実践発表「音楽科と生活や社会との関わりについて」

●講演「学習指導要領改訂のポイント 中学校」

●分科会ワークショップ「郷土の音楽」鑑賞指導

講師：藤沢 章彦（東京女子体育大学講師、当財団理事）

臼井 学（国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省教科調査官）

研究委員：萬 司（拓殖大学北海道短期大学教授）／館 雅之（神奈川県横浜市立高田東小学校校長）

河崎 秋彦（茨城県取手市立取手小学校教諭）／石井ゆきこ（東京都港区立芝小学校主任教諭）

梅宮 真里（福島大学附属小学校教諭）／熊倉佐和子（東京都練馬区立関町北小学校主幹教諭）

安部 文江（長野県御代田町立御代田中学校教諭）／勝山 幸子（東京都港区立六本木中学校主任教諭）

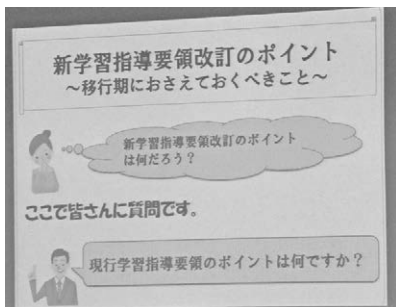
菅原吏枝子（宮城県気仙沼市立鹿折中学校教諭）／高道有美子（東京都八王子市立打越中学校主任教諭）

●実践発表「音楽科と生活や社会との関わりについて」



◀原口先生には、生活や社会と音楽科の関わりを知的財産権（著作権）などに焦点をあて、生徒の身近なことから迫ることで興味をもたせたり、生徒自身が何をすべきかを考えさせたり、日ごろの実践を発表していただきました。

●講演「学習指導要領改訂のポイント 中学校」

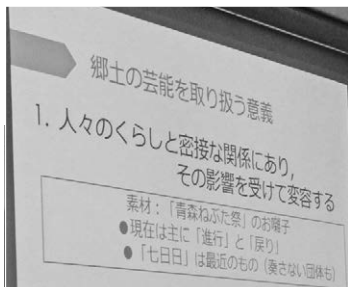


現行の学習指導要領のポイントについて 近くの人と意見交流▼



▲新学習指導要領を理解するには、現行の学習指導要領をきちんと理解していることが大切。と熱く語る臼井先生。

●分科会ワークショップ「郷土の音楽」鑑賞指導



◀分科会に分かれる前に、「郷土の音楽」は変容し続ける音楽であることを理解することが教材研究の第一歩で、それは社会の変化とも密接にかかわっていること。その具体的なことを研究委員から説明しました。

▼中学校分科会「ねぶた祭の音楽」ラッセラーの掛け声とともにハネトの体験



▲小学校分科会「こきりこ」どんな風に工夫してこきりこを歌うか隣の人と意見交流。

【アンケートより】

- ・音楽の授業で学んだことがこれから生徒の生活にどう生かしていけるのか、自分自身でうまく説明できなかったのも、とても勉強になりました。
- ・臼井先生のお話もわかりやすく、先生の言葉の中に重要なポイントがいくつもあるといながら聞きました。
- ・臼井先生のおっしゃった「子どもが考えられるような学習ができるように」ということを胸に留めていきたいと思えます。
- ・郷土の音楽はどのように教えればいいのか全くわからずだったので、早速事例集を購入し、授業をしてみたいと思いました。
- ・苦手…と感じていた郷土の音楽が、親しみやすく思えました。授業で取り上げてみたい！！また、自分の地域にも目を向け、教材開発ができればなあと思いました。

次回の冬の勉強会 平成30年12月26日（水）～27日（木）